

嵐山東 ふれあいだより

発行
嵐山東社会福祉協議会

責任者
中路 枝里子

豊かな関わり合いを通して

京都市立嵐山東小学校校長

河野由佳



校門から見る嵐山の緑が青空に映え、嵐山東公園から見る桂川の水面の輝きが目に眩しい季節になりました。平素は、本校教育活動にご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

子ども達が生きていく未来は、世界と大きく繋がり、変化の激しい社会が予想されます。子ども達は、様々な問題を解決し、前向きに生きていかなければなりません。そこで、地域の方をはじめとする様々な人・豊かな自然との関わり合いを通して、地域の伝統や文化の担い手であることに誇りをもち、次代



と自らの未来を切り開くたくましい子どもを育てていきたいと考えています。「子どもたちが自らの成長を実感できる学校」を創っていくこと

ができるよう、320名の子ども達の教育活動に全教職員一丸となつて全力で取り組んでまいります。何卒、ご支援・ご協力のほど、よろしくお願ひ申し上げます。



総会報告



4月27日、嵐山東小学校会議室において、各自治会より推薦された評議員、福祉協力員の方々と西京区社会福祉協議会並びに、嵐山東小学校の先生方にご出席いただき30年度総会を開催いたしました。29年度事業報告・会計報告・会計監査に続き30年度事業計画・予算案をご審議いただき全ての承認を得ることができました。今年度もあらゆる事業を開催していく中で「支えあい、安心して暮らせる地域」であり続けるために、皆様のご理解とご協力をよろしくお願ひいたします。

平成30年度 事業内容

毎月 以下のふれあい事業を行います	
配食サービス	第2土曜日(8月、9月はお休み)
すこやか筋力アップトレーニング教室	第1・第4木曜日 (今年度5月、1月は第2、第4週)
シニアサロン	第3木曜日
子育て支援	毎週火・水曜日 (民生児童委員協議会との共働)

月	日	事業内容
4	3	お花見とふれあい会
	27	総会
5	19	評議員・福祉協力員研修(視覚障がい)
	26	すこやか合同筋トレ
6	30	高齢者ふれあい会
7	15	広報紙「ふれあいだより」発行
	18	地域ケア会議(北部包括支援センター)
	28	夏まつり車椅子体験コーナー
8	8	世代間交流(流しソーメン)
	16	世代間交流(シニアサロン)
9	15	敬老の集い
	30	区民体育祭
10	17	地域ケア会議(北部包括支援センター)
11	17	西京ふれあいまつり
	24	評議員・福祉協力員研修(視覚障がい)
12	8	西京福祉大会
31年	15	広報紙「ふれあいだより」発行
1	29	高齢者ふれあい会
2	17	賛助会員集計
	23	高齢者ふれあい会
		世代間交流(1年生)
3	1	評議員・福祉協力員選出の依頼

しっかりと心をつなぎ手を つなぎみんなで守ろう地域の子ども

——本年の少年補導活動について——



西京少年補導委員会 嵐山東支部 支部長 村田 純一

平素は少年補導委員会活動にご支援、ご協力頂き誠にありがとうございます。

近年、子どもたちを取り巻く社会環境は、私の子どものころとは違い複雑化しており、

小学生が大麻を吸ったり、SNSに関わる犯罪に巻き込まれたり、非行の低年齢化・凶悪化の傾向にあるといわれています。このような環境下、嵐山東では学校、家庭、地域



が一体となつて絆を深め、子供たちを見守って頂いていることで、子どもたちが大きな事件や犯罪に巻き込まれることなく、自然豊かなこの地域でのびのびと健康やかに育っています。少年補導嵐山東支

部では、本年も定期夜間パトロールや水禍防止パトロールなどのパトロール活動、夏季キャンプやアウトドア遊び活動など支部独自行事や夏祭りやもちつき大会など地域全体行事への参加を通して、「しっかりと心をつなぎ手をつなぎ みんなで守ろう地域の子ども」を支部スローガンとして、子どもたちの非行防止、健全育成活動に取り組みますので、引き続きご協力、ご支援の程よろしくお願ひ致します。



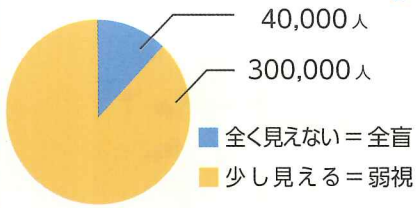
温かいご支援をありがとうございました



平成29年度の賛助会員の募集につきましては、多くのおみなさまの温かいご賛同をいただき、438,500円のご厚志を賜りました。

心より、お礼申し上げます。嵐山東社会福祉協議会では、これからも地域福祉事業に精一杯取り組んでまいります。

視覚障害者の人数



懐かしい曲を口ずさんで



じゃんけん、ポーン勝ったあ!!



お花見 今年も笑顔に出会えたよ! 初夏の日差しをよけて奥座敷!?での宴となりました。今年も元気に集うことが出来ました! (4月3日)

視覚障がいのある方を知る



弱視体験 う〜ん、見えない



5月19日に評議員・福祉協力員研修会を行いました、視覚障がいがある松永信也さんを講師にお招きし、視覚障がい者について学びました。人は目から多くの情報を得ます。例えば、信号や車の動きを見て、安全確認をして移動したり、新聞や本を読むことで多くの知識を得ます。しかし、見えにくい・見えにくいと外出時に困難があったり、点字以外の書物からは情報を得ることが出来ません。生まれつきや幼少期から障がいがあると、字を書くことも困難になるのだと話してくださいました。

私たちが住む西京区内にも、白い杖を使っている方がいます。近々いる人が、「お手伝いしましょうか。」と声をかけてくれると大変ありがたいとおっしゃっていました。特殊な眼鏡を使った弱視体験も行いました。見えにくいと一歩が踏み出せない大きな不安をおぼえました。緑内障や糖尿病等の病気や交通事故等で途中から視覚障がいになる人もいます。

共に生きる者としてお互いさまの心で、お手伝いの言葉かけたものです。て生活されている方がいらつしゃいます。外出する時は神経を使い音を聴き、そして白杖で安全を確かめているそうです。



松永信也さん

平成30年度 嵐山東社会福祉協議会名簿

Table with columns for 理事会 (Board of Directors) and 評議員・福祉協力員 (Councilors and Welfare Collaborators). It lists names and affiliations for various departments across different regions.

合同筋トレ (Joint Muscle Training) 5月26日 (土)、さわやかな、体を動かすには最適なお天気のなか、総勢50名の方と一緒に合同筋トレを開催しました。筋トレのほかに竹工... (林) 午後から行ったグラウンドゴルフでは、初心者の方でも素晴らしい成績を挙げられ、大変盛り上がりしました。これを機に気持ちの良い汗を流し、暑い夏を乗り切って頂けたら嬉しいです。